

[64]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2339143>

出版情報：文學研究. 64, 1967-03-25. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

彙報

松田伊作助教授(言語学)

昭和四十一年四月一日金沢大学より来任された。

田中栄一助教授(仏文学)

昭和四十一年四月一日大阪大学より来任された。

岡村繁助教授(中国文学)

昭和四十一年十月一日東北大学より来任された。

前川俊一教授(英文学)

昭和三十九年四月一日付文学部長併任、昭和四十一年六月三十日付併任解除となられた。

ヘルプスト教師(独文学)

昭和四十一年十月三十一日ドイツへ帰国された。

スワイドソン講師(アメリカ文学)

昭和四十一年十一月一日招聘外国人講師として来任された。

グロス教師

昭和四十一年十一月十二日招聘外国人教師として来任された。

九州文学会談話会

六月二十九日

「オリエントの遺産」(スライド)

松田 助教授

昭和四十一年 於演習室

九州大学文学部文学関係講義題目

昭和四十年年度第二学期(自昭和四十年十月至昭和四十一年三月)

文学概論

講義 マルクス主義の芸術論

高橋 教授

言語学

講義 概論

(金沢大)

松田 講師

国語学

演習 国語の変遷

福田 教授

演習 万葉集

〃

講義 国語学概論

〃

演習 天草本伊曾保物語

春日 助教授

演習 宝物集

〃

講義 国語史

〃

集中講義 方言学

平山 講師

国文学

特研 書誌学の方法

中村 教授

演習 近世歌論書

〃

演習 近松の浄瑠璃

〃

講義 近世小説史

〃

演習 江吏部集

今井 助教授

特講 源氏物語研究

〃

講義 枕草子

〃

特講 近代文学(後期ローマン主義作家の研究)

(教養部) 重松 助教授

中国文学

講義

詩経

目加田 教授

演習 世説新語

〃

特研	文心雕竜(六朝文芸論)	目加田	教授	講読(1)	W. Saroyan 研究	元田	助教
演習	宋代の散文	(分校) 浜	教授	" (2)	Henningway の短篇小説	"	"
演習	牡丹亭	"	"	演習	William Faulkner 研究	"	"
演習	文選	小西	講師	講読	Sarah Orne Jewett 研究	(教養部) 橋口	助教
中国語演習	中国語法音韻学	(分校) 那須	助教	演習	現代ドイツ小説	高橋	教授
中国語講読	我的前半生	"	"	"	ゲーテ『フマウスト』	"	"
英語学				特研			
講義	音韻論	松浪	助教	講義	中世ドイツ文学史	西田	助教
講読	Chaucer 入門	"	"	演習	中世ドイツ語(アウヒ)	"	"
"	R. W. Zandvoort;	"	"	演習	シュトアリヒ『ゲーテ』	"	"
演習	A Handbook of English Grammar	"	"	講義	Der Junge Goethe	I・クルムスト	講師
演習	J. Sledd; A Short Introduction to English Grammar	"	"	演習	Der Prosastil der Deutschen Dichtung	"	"
英文学				演習	Diktion und Konversation	(教養部) 山川	教授
講義	英文学史	前川	教授	演習	仏文学史概説(続)	永田	教授
講読	Penguin Book of English Verse	"	"	演習	文学研究の諸問題	"	"
演習	W. Wordsworth; The Prelude	"	"	演習	B. Constant, <i>Adolphe</i>	"	"
講読	Shakespeare; Antony and Cleopatra	(教養部) 後藤	教授	講読	P. Merimée, <i>Mateo Falcone</i>	"	"
"	Spenser; Faerie Queene	"	"	講読	Paul Verlaine	ハロル	講師
演習	英作文	(教養部) 渡辺	教授	講読	Conversation et Grammaire Françaises	"	"
"	W. C. D. Whetham; Renaissance in Science	(教養部) 永野	助教	講読	Conversation et Grammaire Françaises	"	"
アメリカ文学				講読	Molière	"	"
講義	アメリカ文学史	元田	助教				

演習 Roger Vailand

ペロル 講師

演習 Furcière, *Le roman bourgeois* (教養部)

佐藤 教授

演習 十八世紀仏文学

城野 助教授

講読 セヴィニエ夫人書簡集

(教養部) 城野 助教授

講読 *L'Art poétique du XXe siècle* (北九大)

有田 講師

古代語

ラテン語

(教養部) 東光 助教授

中国語講読

(教養部) 那須 助教授

外国語

中国語演習

(教養部) 那須 助教授

英語

(教養部) 藤田 講師

国語学・国文学関係

○昭和四十年年度卒業論文題目

宇津保物語に於ける皇統の人物について

出水 恭子

——源氏物語との比較——

鐘江 征勝

源雅忠女二条論

赤尾 千鶴子

御伽草子における観音信仰

井関 瑞江

石川啄木論

井上 敏幸

俳文における漢文脈——風俗文選を中心に——

海老井 英次

芥川文学における「死」について

太田 ふみ子

「浜松中納言物語」における夢・転生について

熊谷 桂子

松浦宮物語の研究

白山 法子

式子内親王研究

高山 典子

大田垣蓮月尼の研究
伊曾保物語試論
平家物語研究——平家都落ちをめぐって——
芥川龍之介論
「源氏物語」に於ける六条御息所とそのものけについて

中留 誠子

中野 良子

橋口 晋作

三嶋 讓

宮本 崇子

○九大国語国文学会(41・5・22)
研究発表
薄雪物語出典考
桜島忠信落書について
「美子が薬」をめぐって
日本靈異語の副詞
玉里文庫本古筆源氏物語について
宮沢賢治と近代詩——「銅鑼」を中心として——

若木 太一

後藤 昭雄

石川 八朗

原 栄一

徳満 澄雄

境 忠一

瀬里 広明

露伴の名人ものと禪
複述語文の仮説について——「見巾」の二面性——

春日 和男

○全国大学国語国文学会(40・10・26、27於九大文学部)
(本学関係のみ)

公開講演会

古代語の国語史的意義
研究発表

福田 良輔

鷗外と現代思想
「今昔」考

重松 泰雄

春日 和男

資料展観「在九州古活字版本展」

○西日本国語国文学会(40・9・18・19於佐賀大学)

(本学関係のみ)

研究発表

支考の其角評をめぐって

芭蕉の切字「や」について

仮名「ん」による表記の意味するもの

——ム及びモを表はす——

露伴文学における華嚴思想

興昌寺一夜庵筆海帖と日向佐土原の文事

「つれづれ」の意味の再検討

柳里恭の誠の説

○西日本国語国文学会(41・9・22、23於九大文学部)

(本学関係のみ)

研究発表

黄表紙若干の考察

尾張蕉門の分裂と荷弓の立場

幕末期佐賀地方に於ける助動詞について

三宝絵詞と日本靈異記

説話文型の崩壊

○語文研究第二十一号(41・2)

古今六帖と千載佳句

和泉式部「くらきより」の歌の詠作筆時

蝶夢の俳壇登場をめぐる諸問題(上)

露伴文学における華嚴思想について

石川八朗	田中道雄	鶴久	瀬里広明	田尻竜正	井手恒雄	中村幸彦	中山右尚	石井大	篠崎久躬	原栄一	春日和男	清田伸一	龍頭昌子	田中道雄	瀬里広明
------	------	----	------	------	------	------	------	-----	------	-----	------	------	------	------	------

△紹介▽

福田良輔著「奈良時代東国方言の研究」

森山隆

言語学関係

○吉町義雄教授停年退職

昭和四十年四月一日付で吉町義雄教授が退官された。

○松田伊作講師臨時講義

昭和四十年十二月に金沢大学講師松田伊作氏が言語学概論を講

義された。

○松田伊作助教授来任

昭和四十一年四月一日松田伊作氏が金沢大学より助教授として

赴任された。

中国文学関係

○中国文学研究発表の会

第二回(昭和四十年十月)

蘇軾の思想

合山 究

李商隱の詩

垂永英彦

淫祀と古小説

第三回(昭和四十年十二月)

旧満州地区における中国語教育の状況

堀田ナツ

第四回(昭和四十一年二月)(卒論発表会)

那須清

(学部)蘇軾の和陶詩について

合山 究

曹植の白馬王彪に与ふる詩について

木村公子

(大学院)杜甫晩年詩の性格

川北泰彦

第五回(昭和四十一年四月)

川北泰彦

第五回(昭和四十一年四月)

陳子昂の「感遇詩」について
茅盾の「蝕」三部作について

安東俊六
木村シゲ子

第六回(昭和四十一年七月)

民間文学論争

小坪たゑ美
垂永英彦

李商隠の後半生について

第七回(昭和四十一年九月)

訪中報告会

樋口進
秋吉久紀夫

文化大革命について

中屋敷宏

宋代文芸における俗の概念(蘇軾・黃庭堅を中心として)

第八回(昭和四十一年十月)

中国文学批評と詞華集

合山究

大衆化過程からみた魯迅

林田慎之助
樋口進

明清薬について

浜教授

九州中国学会(於鹿児島大学)

中屋敷宏

文芸講話と胡風文芸理論

垂永英彦

李商隠の諷刺詩

川北泰彦

杜甫晩年詩「詠懷古跡」五首について

革命的リアリズムと革命的ロマンチズムとの結合

秋吉久紀夫

樋口進

杜荀鶴の詩

上尾龍介

岡村繁助教授来任

岡村助教授は、昭和四十一年十月一日付をもって東北大学より

本学に着任された。

英文学関係

O *Carm* No. 6 (昭和40年12月発行)

英詩に於ける Sound Symbolism

磯部薫

Shakespeare's

Subjunctive Mood and Modal Auxiliary

笠原正夫

D. H. Lawrence の生命主義

勝又喜久雄

To the Lighthouse について

金子宏

——二つの現実観の対立と結合——

The Return of the Native における悲劇因についての一考察

杉山隆一

Samson Agonistes における劇的アイロニーの諸問題

園井英秀

Shakespeare に於ける分詞構文について

田島松二

——特に初期、中期作品に関して——

富田党夫

The Canterbury Tales の関係詞について(その一)

山中光義

Venus and Adonis

渡辺真砂

——愛と死の dramatic exercise ——

古屋靖二

The Pearl と The Old Man and the Sea

Heatcliff と Catherine ——その心理的展開

Harris の音楽分析と Suprasegmental Phenome について

O *Carm* No. 7 (昭和41年4月発行)

Heatcliff と Catherine ——その心理的展開

Harris の音楽分析と Suprasegmental Phenome について

Heatcliff と Catherine ——その心理的展開

O *Carm* No. 7 (昭和41年4月発行)

Harris の音楽分析と Suprasegmental Phenome について

Othello ——恋愛悲劇としての試論的考察

Harris の音楽分析と Suprasegmental Phenome について

Heatcliff と Catherine ——その心理的展開

Harris の音楽分析と Suprasegmental Phenome について

Harris の音楽分析と Suprasegmental Phenome について

King Lear の再生

井戸 修
片岡 章

九州大学 永野 芳郎

The Subjunctive Mood in Object Clauses in Chaucer

小川 浩

○第五回シェイクスピア学会

昭和四十一年十月十五、十六日九州大学文学部において催された。

Some Notes on Emma

横山 恒子

独 文 学 関 係

「エマ」の芸術性再考

吉崎 泰博

○日本独文学会

○日本英文学会第38回大会（於上智大学） 九州大学関係発表者
英文法訳語が確定するまで——蘭・英学接触期を中心として——
九州大学助教授 井田 好治

ME の Syntax に ついて (シンポジウム)

九州大学助教授 松浪 有

○西日本支部

昭和40年10月18・19日の両日秋季研究発表会が弘前大学に於て開催された。
第十九回総会並びに研究発表会が昭和41年5月7・8日両日
本大学に於て開催された。

Charlotte Brontë に見る独立自尊の精神についての一考察

九州大学大学院 広田 稔

総会並びに研究発表会を11月27・28日の両日熊本大学に於て開催。(九大関係者発表論文)

To-infinitive in Old English — OE Syntax への試み —

九州大学大学院 小川 浩

ホフマンスタールとギリシア古典劇

坂本 明美 (修士二年)

Langland における Verbs について

九州大学大学院 田島 松二

作品と理論の関係からみたブレヒト演劇の問題点

池田 紘一 (修士二年)

Herman Melville の Benito Cereno に ついて

九州大学 野口 健司

仏 文 学 関 係

Joe Christmas の 救 — Light in August について —

九州大学大学院 吉崎 泰博

E. M. Forster (シンポジウム) 九州大学 中野 行人

イギリスの意味論について (シンポジウム)

○田中栄一助教授本年四月来任

先生の歓迎茶話会を五月上旬仏文学教室で開いた。

○昭和四十年年度日本フランス語フランス文学会秋季大会
(十月十日於大阪大学)

○昭和四十一年度日本フランス語フランス文学会春季大会

(六月四・五日於立教大学)

○昭和四十一年度日本フランス語フランス文学会秋季大会

(十月九日於広島大学)

本学園係研究発表は次の通り。

- 一、ブルーストとバルザック 助手 山口 俊夫

○第十三回九州フランス文学会

(昭和四十年十一月三日 於西南学院大学)

研究発表会

- 一、Accent circumflexeについて 福元 啓二郎

- 一、フローベールの半過去について 小林 正憲

- 一、ロマンチズムにおける 'part utile' と 'part pour l'art' 小柳 保義

- 一、Mes inscriptions, Journal intime de Restif de la Bretonne 植田 祐次

- 一、「チボー家」の執筆に先立つ二・三の問題 広田 正敏

- 一、ジュール・ロマンの科学論文 高浜 保

総会

公開講演会

一法と文芸

一、クロードレルの「牡丹灯記」 船越 栄一

一、クロードレルの「牡丹灯記」 石 進

○昭和四十年進学生歓迎会

十一月二十三日北山ダムに歓迎ピクニックを行った。

○昭和四十一年三月卒業論文発表会(三月一日)

学士論文

学士論文

- 一、Rimbaudと文字

- 一、Camusの「La Peur」における人間性

- 一、Maupassantの短篇小説

- 一、Chateaubriandの「Renée」

- 一、「ボヴァリー夫人」と「谷間の百合」

- 一、その主人公について

- 一、G. de Maupassantの生涯

- 一、その華麗と悲惨

- 一、ヴェルレーヌ論

- 一、文学創造の精神的支柱としての美学

- 一、Flaubertの方法について

- 一、Gallismes dans les romans de Voltaire

- 一、Romain Rolland

- 一、「ジャン・クリストフ」の光と影

修士論文

- 一、Guillaume Apollinaire

- 一、「カミュの「異邦人」について

- 一、「ローランの歌」序説―史実・伝説・言語

○集中講義

東京都立大学小場瀬卓三教授が昭和四十年十月二十五日から十月三十日まで「十七世紀フランス文学史の諸問題」について講義された

○仏文学講演会(昭和四十一年十月十一日)

一、Mairieux romancier フランス文化使節ロベール・モージ氏

リヨン大学 教授

リヨン大学 教授

リヨン大学 教授

リヨン大学 教授

緒方末弘

足立心一

鬼塚保幸

片山雅子

清原洋子

佐藤久美子

鈴木彬司

寺本俊三

古川直世

大和淳子

石田信彦

榎木栄一

福元啓二郎

受贈雜誌

- 国語国文 (京都大学国文学会)
日本民俗学々報 (日本民俗学会)
人文研究 (大阪市立大学文学会)
一橋論叢 (一橋大学一橋学会)
朝鮮學術通報 (在日朝鮮人科学者協会)
日米フォーラム (米国大使館文化交流局)
Sunimoto Bank Review. (住友銀行)
万葉 (万葉学会)
立命館文学 (立命館大学)
文化 (东北大学文学部)
経済月報 (住友銀行)
近代文学研究 (法政大学日本近代文学研究会)
国文学研究 (早稲田大学国文学会)
甲南大学文学会論集 (甲南大学文学会)
郷土文化 (名古屋郷土文化会)
相模女子大学紀要 (相模女子大学)
神戸外大論叢 (神戸外国文学研究所)
山口大学文学会志 (山口大学)
ヨーロッパ文学研究 (早稲田大学文学部)
東洋学術研究 (東洋学術研究所)
彦根論叢人文科学 (滋賀大学経済文化研究所)
山口女子短期大学研究報告 (山口女子短期大学)
清泉水子大学紀要 (清泉水子大学)

- 愛知県立女子大学紀要 (愛知県立女子大学)
論究日本文学 (立命館大学日本文学会)
演劇研究 (早稲田大学演劇研究会)
人文論究 (北海道教育大学函館分校)
Foreign Studies Pamphlet. (神戸外国語大学研究所)
神戸外大論叢 (神戸外国語大学研究所)
神戸外国語大学研究年報 (神戸外国語大学研究所)
人文論究 (関西学院大学)
文芸と思想 (福岡女子大学文学部)
大阪府立大学紀要 人文、社会科学 (大阪府立大学)
学習院大学国語国文学会誌 (学習院大学国語国文学研究室)
哲学研究 (京都哲学会)
東京支那学報 (東京支那学会)
東北大学文学部研究年報 (東北大学文学部)
アカデミア (南山大学)
野田文学 (野田文学会)
逐次刊行物目録 (国立国会図書館)